

# つくろう！ふるさと江別の絵になる風景

## 景観づくりの道しるべ



景観とは私たちが見ている自然や人が作りだしたものが形づくるといえる。地域の歴史や文化、そこに住む人々の生活などを通してつくられたものです。



平成18年3月

## 目次

<b>1</b>	この計画書の紹介	1
	1. この計画書の目的	1
	2. この計画書の必要性	1
	3. この計画書の役割	1
	4. 景観とまちを形づくる要素	2
<b>2</b>	景観の現状	3
	1. まちの景観の成り立ち	3
	2. まちの景観の体系	4
	3. まちのいろいろな景観	6
	4. まちの景観の課題	7
<b>3</b>	景観づくりのテーマ（理念）	9
	1. 景観づくりのテーマ	9
	2. 「江別らしい景観」のイメージ	9
<b>4</b>	景観の将来像	10
	1. まち全体の景観	10
	2. 住宅地の景観	11
	3. 人が集まる場所の景観	12
	4. 工場などが集まる場所の景観	13
	5. 公共施設の景観	14
	6. 農業地域や自然のある場所の景観	15
<b>5</b>	実現に向けた考え方と取り組み	16
	1. 景観を「まもる」「つくる」「みちびく」	16
	2. 市民・事業者・行政の役割	17
	3. 実現に向けた方策	17
	4. まちを形づくる要素に応じた取り組み	18
<b>6</b>	参 考	26
	1. この計画書ができるまでとその後の景観づくり	26
	2. 景観に関連する主な法令など	27
	3. 都市計画マスタープラン策定市民会議からのご意見・ご提言	27
	4. 緑の基本計画策定市民会議からのご意見・ご提言	29
	5. 都市景観研究会からの提言	30
	6. 江別市景観委員会の審議	31
	7. この計画書のあらまし	32

## この計画書の紹介

### 1. この計画書の目的

#### 江別の景観をみんなで「まもる」「つくる」「みちびく」ための「道しるべ」

- この計画書は、将来の江別の景観をどのようなものにするのか、それを実現させるための考え方や、市民、事業者、行政の適切な役割にふさわしい取り組みなどを明らかにするものです。
- 江別の景観の将来像の実現に向け、まちの景観を市民ぐるみで「まもる」「つくる」「みちびく」ための、いわば景観づくりの「道しるべ」と言えます。

### 2. この計画書の必要性

#### 景観づくりための方向性や考え方をみんなで共有するため

- 今までは、それぞれが思い思いに景観づくりを行ってきた結果、望まれている統一感や江別らしさに乏しい景観となっています。また、後世に伝えるべきものや改善すべきものが明確になっていない状況にあります。
- それは景観づくりのための「よりどころ」が明らかでなかったことが主な要因になっています。最近では、江別らしい景観づくりやそのための景観の規制や誘導が求められるようになっており、このようなことがきっかけとなって、その「よりどころ」を共有するためにこの「道しるべ」をつくるが必要となっています。

### 3. この計画書の役割

#### みなさんと協力して江別の景観の将来像を実現させること

- 江別の「まち」は、主に人が住んでいる建物などが建ち並ぶ「街」いわば市街地と、その周りを取り巻く水田や畑、放牧地などの農村地域をはじめ野幌原始林や石狩川などの自然で形づくられています。
- まちの景観に関しては、私たちの責務として、良いものを守り、魅力を創り出し、改善へ導くことで、より良い景観を市民共有の財産として後世に引き継いでいかなければなりません。
- その際に、主役である市民のみなさんをはじめ事業者や行政それぞれの役割にふさわしい方法で、江別の景観の将来像を実現させることがこの計画書の役割になります。

#### 4. 景観とまちを形づくる要素

- 江別のまちは、住宅地や商店街、工業団地などの市街地と、これを取り囲む農地や自然公園など、いろいろな要素から形づくられています。まちの景観は、それぞれの要素に応じて一体としての市街地景観や農村景観、自然景観など、さらにはえべつの全体景観を創り出しています。
- 私たちが景観を考えるうえでは、これらの要素とは切っても切れない関係にあることから、まちづくりの一つとしての景観づくりを進めるときには「まち全体」を対象にして考えることが必要になります。



## 2 景観の現状

- めざそうとする景観を創り出すためには、今ある良い景観を守ることや美しいものを創り出したり、改善へ導いたりすることが必要となります。
- そのためには、市内の景観形成の成り立ちや景観の現状がどうなっているのかをはじめ、そこに住んでいる人はその景観に対してどのように思っているのかを知っておく必要があります。ここでは、これらのまちの景観に関する現状を明らかにします。

### 1. まちの景観の成り立ち

- 江別市は、地形上、石狩平野に突き出た野幌丘陵と低地に大別されます。野幌丘陵は緑豊かな市街地と、先人の思いにより今ではかけがえの無い財産となった野幌原始林を始め、先人の住居地跡が今も眠る段丘地形や豊かな自然が残る沢が自然景観上のひとつの特色となっています。また、野幌丘陵をとり囲むように広がる低地部は、母なる川、石狩川を始めとした大小の河川などの自然景観と、たゆまぬ先人の努力により耕地化され、耕地防風林のある豊かな農村風景があります。この風景も、江別という地を印象付ける象徴的な景観となっています。
- 身近な自然から、四季折々の色や香りまでもがはっきりと感じられる気候や、季節を通じて吹く強い風、4ヶ月余りにも及ぶ積雪期の白を基調とした風景なども、他の景観とあいまって江別の景観形成における重要な要素となっています。
- 明治時代に屯田兵や開拓移民による本格的な開拓が始まった農村部は、いまでも黄金色に染まる小麦畑や水田、日本のデンマークとも言われた酪農の風景、さらに耕地防風林とが一体となり、開拓の槌音が聞こえるような江別の原風景ともいえる景観があります。
- 江別地区は、石狩川を利用した本道縦横断道の要衝地であった幕藩時代を経て、明治15年に開通した鉄道と石狩川の舟運により水陸交通の要衝として、人々と物資が集まる「雑穀の街」として栄えた地区です。今も随所に歴史を感じさせる建物や昭和のたたずまいを感じる町並みが残り、どこか懐かしい、歴史と新しさが同居する景観があります。
- 良質な陶土と燃料となる豊富な木材によりれんがの製造など窯業産業で開かれた野幌。今でも随所にれんがの建物が残る中で、集合住宅や商業施設などが立ち並び賑わいのある中心性が感じられる景観があります。
- 当時は「夢のまち」と称される程の卓越した住居環境の街として誕生した大麻団地。現在も緑豊かで成熟した街並みと、原始林を背景に大学などが立地する文教地区の若々しさが同居する大麻・文京台地域特有の景観があります。
- 豊幌地域などの郊外住宅地は、農村景観と市街地景観が調和し織りなす景観があります。



昭和30年代の江別の町並み



煉瓦工場の両のぼり窯

## 2. まちの景観の体系

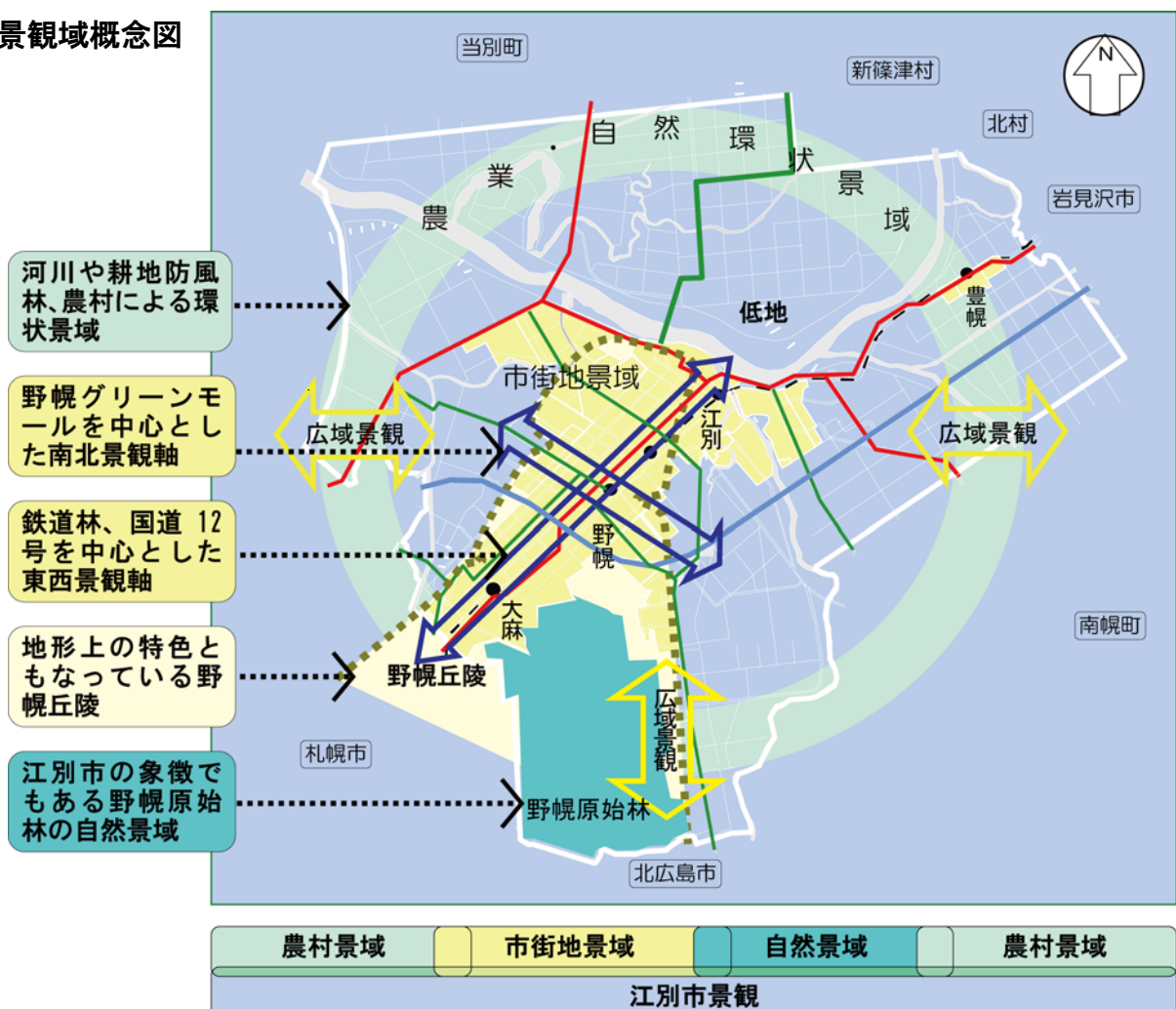
### (1) 景観構造

- 江別市の景観づくりをすすめるにあたっては、地形や地域性、その成り立ちなどの要素から、大きな区分である景域を設定する中で、江別市の景観の基本構造を明らかにします。

### (2) 景観構造の設定

- 景観景域は大きく、主に低地に広がる農業・自然環状景域と野幌丘陵地に形成された市街地景域に区分されます。景域は、それぞれの特徴を持つ一方、展望景観などの要素から互いに関連する関係にあるといえます。
- 江別の原風景ともいえる農村・自然景域は市街地を取り囲むようにあります。近隣市町村域も含めた北海道らしい広々としたその景域は、来訪者や都市住民にとっても心の豊かさや潤いを与えてくれる風景となっています。また、市街地景域は形成過程におけるそれぞれ地区の歴史や文化を色濃く残しつつ、鉄道林や国道 12 号沿いの東西景観軸と野幌グリーンモールを中心とした南北景観軸を中心に自然環境と調和した住宅都市としての市街地景域があります。

### (3) 景観域概念図





### 3. まちのいろいろな景観

- 江別のまちにはいろいろな景観があります。



彩りの景観～いずみ野小学校の花壇



街なかのＪＲ鉄道線の景観～江別地区



住宅街の景観～いずみ野地区



街なかの自然景観～大麻中央公園



北海道らしい景観～酪農学園精農寮



農村景観～豊幌南私有防風林



自然豊かな河畔林景観～篠津川(中津湖)



冬の自然景観



西野幌の工業地の景観～RTN地区



レンガのある景観～バス待合所(ランドマーク施設)



市街地縁辺部景観～野幌美幸町



幹線道路の景観～国道12号



商店街の景観～8丁目商店街



改善したい景観～交差点の電線

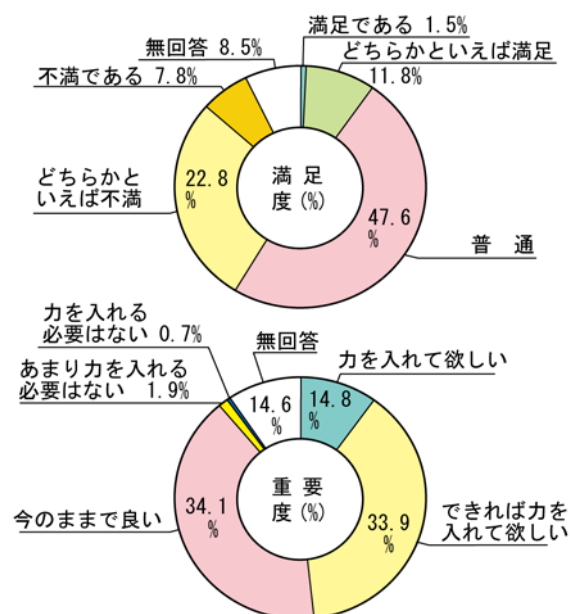


## 4. まちの景観の課題

### (1) 景観に力を入れて欲しいと感じている市民が多いこと

- 平成14年に行った「江別市まちづくりアンケート」では、まち並みなどの都市景観についての満足度は「普通」と感じている市民が大勢を占めていますが、「満足」より「不満」と感じている市民の割合が2倍以上となっています。
- さらに、約5割近くの市民が都市景観に力を入れることが重要と考えていることも明らかになっています。
- このことから、景観に対して不満と感じる市民の割合を減少させることが必要だと思われます。

まち並みなどの都市景観について



### (2) 景観の将来像や景観づくりの方向性が明らかになっていないこと

- 近年、景観づくりへの意識が高まるなかで、花のある町並みが多くなるなど、まちの景観は徐々に良くなってきてはいますが、それぞれが思い思いに行っているのが現状です。また、どんな景観のまちに住みたいのか、どんな景観にしていきたいのかといった、市民合意によるまちの景観の将来像が描かれていないのが現状です。
- 景観づくりを進める際にも、例えば街路樹を植えるのは賛成するが、家の前や落ち葉が自分の家に入るのは困るといったことをどうするのか、どんな景観を優先して守りどんな景観は改善すべきかといった身近な課題や、乱立する看板やのぼりはどの程度ならば「まちの活気」としてとらえるかなどといった考え方、様々な恩恵を受けている野幌原始林や鉄道林などを守るには市民として行政としてどのような役割を担うのかなど、行政を含めて市民全体として、景観づくりの考え方や方向性はどうかの合意形成がなされていないのも現状です。



大麻 14 丁目の街路樹と花壇

### (3) 江別を代表するれんがの良さが浸透していないこと

- 野幌を発祥の地とし、その歴史性や文化を語るうえで欠かせない江別のれんがは、建築資材としてのみならず江別を象徴するといっても過言ではない地域資源であるとともに、その風合いから自然や温かみを感じさせてくれる優れた景観素材です。
- 「江別のれんが」は平成16年に北海道遺産として選定されましたが、「れんがのまち」としては、市内を見渡してもれんがの使われ方が他のまちと比べて特徴あるものにはなっていないように思われます。
- 理由としては、他の資材に比べると始めはやや割高に感じられますが、長い目でみると維持費が少なく、風合いが増すなど、れんがの持つ優れた特性や利点、使い方などが市民のみなさんに浸透していないことも一つの要因と考えられます。



江別市指定文化財～火薬庫



セラミックアートセンター～西野幌

### (4) 景観を悪くする要素の改善が図られていないこと

- 照明灯や標識などが壊れていたり塗装が傷んだままのものや、廃屋や廃材置き場、電柱や街路樹に付けられた張紙広告などが、見苦しい状態で放置されているものが目に付くようになっています。



傷んだ道路標識

### (5) 景観づくりに対し積極的に取組める社会情勢にないこと

- 景観づくりの先導的役割を担う公共施設の整備をはじめ、企業の活動などにおいては、近年の経済状況などの影響から、景観づくりに配慮した投資が控えられ、積極的な景観づくりに取り組めない状況が続いています。



札幌学院大学前バス待合所（ランドマーク施設）

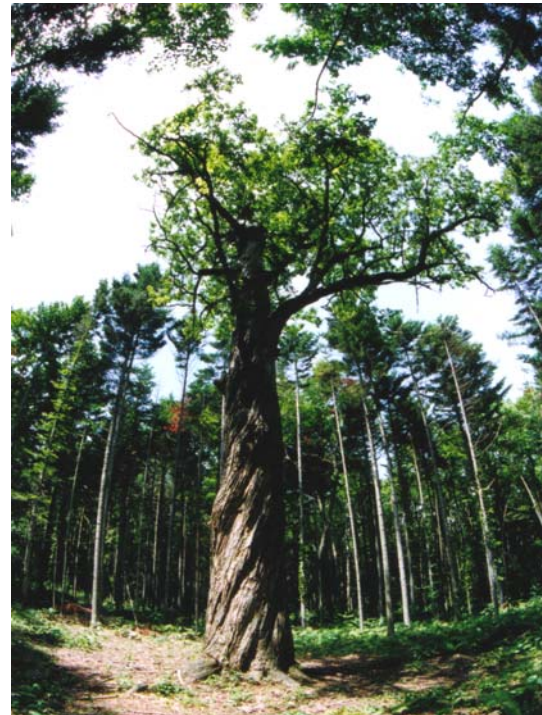
## 3 景観づくりのテーマ(理念)

### 1. 景観づくりのテーマ

## 人と自然が織りなす江別らしい景観を子供たちへ

歴史を感じさせる耕地防風林のある農村の風景や、庭先の木々、季節の花々とれんがのある温かな市街地景観といった人が創り出すものと、野幌原始林や石狩川、街なかに昔のままに残る沢地や樹林地などの自然が創り出すものが織りなす江別らしい景観があります。

これをみんなで守り育て、市民共有の財産として子供たちへ引き継ぐことをテーマとします。



野幌原始林内のくりの木

### 2. 「江別らしい景観」のイメージ

## 身近に自然や原風景、れんがの温かさのある暮らし続けたいくなる景観

身近には、緑豊かな鉄道林をはじめ、森や水辺のある大麻中央公園や泉の沼公園など、郊外には歴史ある野幌原始林や石狩川などの雄大で繊細な自然の景観があります。また、農業地域に目を向けると原風景を創り出している耕地防風林と小麦畑や牧草地などが広がっています。

そして、私たちはこれらの景観にいつでもふれることができ、生活の糧となる潤いややすらぎを感じることができます。また、街なかを見渡すと街路樹や庭先の木々、市民の手によって植えられた季節の花々とれんがのある温かな景観が暮らしの中にたくさんあり、暮らし続けたいくなる“ほっ”とする景観のあるまちがイメージです。



住宅地の街並み～若草町

## 4 景観の将来像

ここでは、景観づくりのテーマにそって、景観の将来像を明らかにします。

景観の将来像については、まち全体の景観をはじめ、まちを形づくっている戸建て住宅や集合住宅が建ち並ぶ住宅街、駅前や商店街などの人が集まる場所、工場や倉庫などが集まる場所、道路や公園、市役所や公民館などの公共施設、水田や畑、野幌原始林などが広がる農業地域や自然のある場所について、それぞれどのような景観をめざすのかを明らかにします。

### 1. まち全体の景観

## 暮らしていてほっとする景観のあるまち

自然が創り出すものと人が創り出すものが織りなす「江別らしさ」のある景観として、「自然」「原風景」「れんがの温かさ」を感じる、人にやさしく暮らしていて“ほっ”とする景観のあるまちが将来像です。

#### 将来のイメージ

- 野幌原始林や石狩川などの雄大な自然の景観を身近に感じることができます。
- 街なかには、昔のままの地形や樹林地などの心休まる自然の景観が残されています。
- 耕地防風林のある豊かな農村の原風景にいつでもふれることができます。
- 緑豊かな鉄道林や街路樹、庭先の木々の潤いと季節の花々に彩られた景観があります。
- 街なかを見渡せばどこにでもれんがの温かさを感じる景観があります。
- 駅前や国道12号沿道はまちの顔として江別らしさのある景観になっています。



「朝陽に映える」  
絵になる江別フォトコンテスト受賞作品



「私達3世代で守ります。祖母70母40孫6才」  
絵になる江別フォトコンテスト受賞作品

## 2. 住宅地の景観

## 「暮らし続けたい」と感じる景観

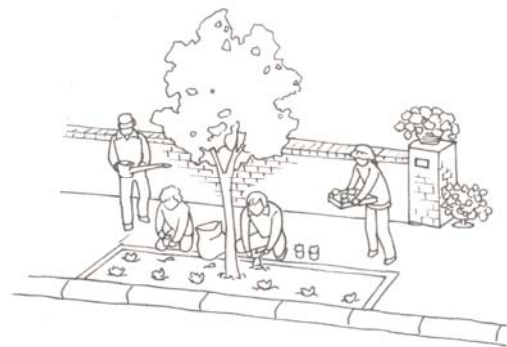
住宅都市としての特色のある市街地の大半を占める住宅街は、私たちにとって最も身近な空間であり、暮らしていて心地よく、暮らし続けたいと感じる「愛着と安心感」のある景観として、「江別らしさ」「潤い」「彩り」「ゆったり感」のある景観が将来像です。

## 将来のイメージ

- 住宅や玄関先などにれんがが使われ温かみのある街並みがあります。
- 近所の人々が集まって花壇づくりに汗をながす光景があります。
- きれいな庭や花がたくさんあり、つい散歩も遠回りをしたくなる街並みがあります。
- 住宅の外壁や屋根の色などに統一感を持たせた素敵な街並みがあります。
- 塀のない庭やカーポートで風通しのよい開放感のある街並みになっています。
- マンションは高さや外壁の色が周りの景観と調和するように建っています。
- 身近に残された森や水辺などの自然の中で遊ぶ子供たちの光景があります。
- 大麻団地は戸建住宅と集合住宅が調和した緑豊かでゆとりある街並みになっています。



スウェーデンヒルズの住宅地～当別町



花いっぱいの庭づくり



街なかの林と水辺～泉の沼公園

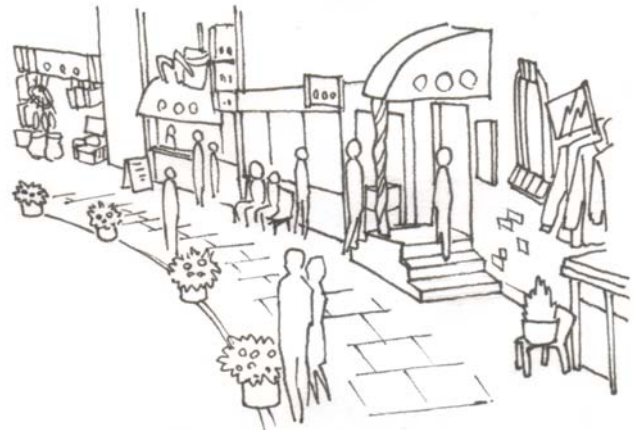
### 3. 人が集まる場所の景観

## 「にぎわい」と「魅力」のある景観

市民が集う駅前や商店街などは、まちの顔として楽しく活気があり「魅力」ある景観として、「江別らしさ」「心地よさ」「活気」のある景観が将来像です。

#### 将来のイメージ

- 古いれんがの建物を利用した喫茶店や陶芸店など歴史を感じる街並みがあります。
- れんが舗道やカフェテラスなどでゆっくりと楽しく買物ができる街並みがあります。
- おしゃれな店構えでちょっと立ち寄りたくなる魅力的な街並みがあります。
- 街路樹の木陰と店先の木々、プランターの花々が華やかで心地よい街並みがあります。
- 大型店舗は、高さや形、外壁の色や素材が周りの景観と調和し地域のシンボルとなっています。
- れんがを使った駅舎から見る駅前、電線のない緑豊かで活気のあるまちの顔にふさわしい景観になっています。



#### 景観イメージ



カフェテラスのある街並み例



花による歓迎表現例

出典:「東京都・青山通と街並みの景観を考える会」HP

## 4. 工場などが集まる場所の景観

## 「地域や自然と調和」した景観

工業町や西野幌地区などに広がる工業団地などは、団地内を流れる河川や地区に隣接する野幌原始林などの「自然と調和」した景観として、「自然環境」「快適さ」「潤い」のある景観が将来像です。

## 将来のイメージ

- 工業町の工場や倉庫などが集まっている工業団地は、団地内を流れる河川や河畔林などの自然環境と工場などの建物や敷地内の木々、街路樹などが調和した緑豊かで潤いのある景観になっています。
- 西野幌の先端技術系企業などが集まっているRTN地区は、その背後に野幌原始林が広がり、広々とした公園や企業の特徴的な建物が調和した緑豊かで快適な景観になっています。



工業団地内の世田豊平川～工業町



RTN地区内の企業～西野幌



RTN地区内の民間施設～西野幌



第2工業団地～角山

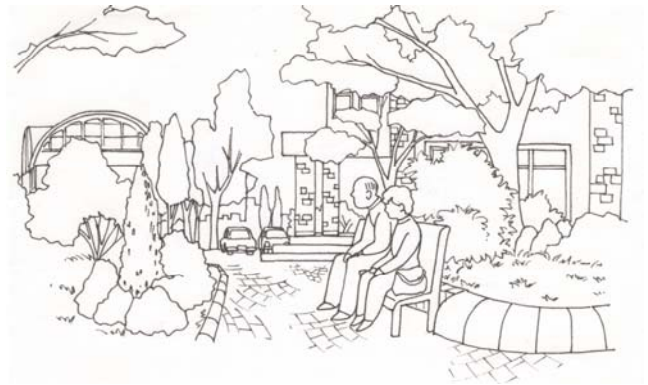
## 5. 公共施設の景観

# 「江別らしさ・シンボル性・親しみ感」のある景観

江別の景観づくりを先導する市庁舎や学校、病院などの公共施設の建物とその周辺は、市民に親しまれる地域の拠点として、また、まちの顔である国道12号をはじめとする幹線道路や公園は、暮らしていて心地よく「江別らしさ」「シンボル性」「親しみ感」のある景観が将来像です。

### 将来のイメージ

- れんがを使ったシンボリックな市庁舎と緑豊かな木々や四季折々の花々で彩られた前庭は、まちの顔となる景観になっています。
- れんがの陰影が特徴的な校舎の周りで、やきものの歴史を学ぶ子供たちの光景があります。
- れんがを使った公民館の建物は緑豊かな木々に囲まれ、その中に置かれたベンチでは老夫婦が一休みする、地域の憩いの場としての光景があります。
- トイレや広場などに使われたれんがと緑豊かな木々や花々が心地よい公園で楽しく遊ぶ親子の光景があります。
- 清々しい夏の早朝に、野幌グリーンモールの木漏れ日がさすれんが舗道を散歩する人々の光景があります。
- 自然環境に配慮された川辺で、ホテルを観察する子供たちの光景があります。
- 鉄西線の黄色く染まったイチョウ並木と黄色いじゅうたんが印象的な秋の景観があります。



大麻中央公園の水辺



石狩川に架かる美原大橋



## 6. 農業地域や自然のある場所の景観

## 「原風景」のある景観

郊外においては、電車の車窓や野幌丘陵の高台から眺める、遠くの山並みを背景に耕地防風林のある麦畑や放牧地、野幌原始林や石狩川などの地域の記憶である自然が織りなす「原風景」として、「農地」「耕地防風林」「自然」「住まい」が調和した景観が将来像です。

## 将来のイメージ

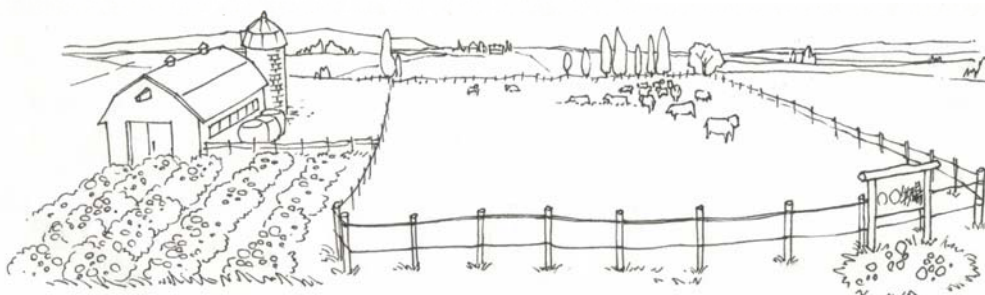
- 郊外の道路を走ると、遠くの山並みを背景に耕地防風林と広大な農地が一体となった農村の原風景が広がります。
- 石狩川の築堤や電車の車窓からは、雄大な石狩川と美しい姿の美原大橋が織りなす江別のシンボルとなる景観を見ることができます。
- 秋には、トンボが舞う黄金色に染まった農村の美しい景観があります。
- 夏の朝早く、サイロのそばで牛たちがのどかに草を食む牧歌的な景観があります。
- 一面真っ白な雪原に、風雪に耐えてたたずむ耕地防風林の姿があります。



元野幌（8丁目通付近）の丘陵地



農村景観～収穫風景



## 5 実現に向けた考え方と取り組み

ここでは、目指すべき江別らしい景観の将来像の実現に向けて、「まもる」「つくる」「みちびく」という基本的な考え方と、市民と事業者と行政の各々ができることを明らかにするとともに、まちの景観を創り出している要素に応じて、景観づくりのテーマと考え方にそって、「みんなでつくる」「地域らしさ」「持続性」「周辺環境との調和」「良いものは長く使う姿勢」などに配慮した取り組みを明らかにします。

### 1. 景観を「まもる」「つくる」「みちびく」

#### 景観をまもる

**身近に自然や緑のある景観の保全**  
**地域の記憶となる原風景の保全**  
**歴史を感じる貴重な景観の保全**



#### 景観をつくる

**地域の特色にふさわしい景観づくり**  
**将来につながる優れた景観づくり**  
**レンガのまちを意識した景観づくり**



#### 景観をみちびく

**市民が主役になれる身近な景観づくりの推進**  
**景観づくりがしやすい環境の形成**  
**改善が必要な景観を適切にみちびく**

## 2. 市民・事業者・行政の役割

- 市民の役割

江別市民は景観づくりの主役であり、市民ひとりひとりが都市景観を市民共有の財産として認識し地域の一員であることを意識して、自宅の庭をはじめ地域の道路や公園といった公共の場など生活に密着した身近なところで、周りとの調和のとれた景観づくりを地域や行政と協力して行うことが自らの生活空間をより快適で魅力あるものにして行きます。

- 事業者の役割

地域の一員として住民や行政と協力し、地域に根ざした景観づくりを通じて、いろいろな事業活動にも結びついていくことを認識し、良好な都市景観づくりに参画することにより様々な角度からまちの環境を向上させることが期待されています。

- 行政の役割

行政は総合的な都市景観形成の推進役として、景観づくりの機運向上のための啓発や情報提供、市民や事業者が行う景観づくりが円滑にできるような環境を整えたり、公共の場においては江別らしい景観づくりを率先して進めるよう努めるなど、景観形成の先導的役割を担います。



冬の山並みと美原大橋

## 3. 実現に向けた方策

- 市民意識、市民活動の充実

江別市民が都市景観に関心を持ち、景観づくりに積極的に参加するためには、都市景観資源や活動情報を把握し、市民、事業者への周知や啓蒙、良好な景観の例の紹介などを行い、市民意識の高揚や市民活動の充実に向けた取り組みの推進に努めます。



市民による植樹活動

- 景観形成の推進

社会の広域化、情報化、交流活動の充実に応じ、都市景観の形成に対する市民参加や、事業者（商店街、企業、団体等）と行政との協力など、市民、事業者と行政が協力して景観形成を推進するよう努めます。

- 景観制度の活用

都市景観の形成主体は、市民、事業者であり、行政はその実現に向けた推進役として、適切に誘導してゆくことが必要です。そこで、地域の景観の特色などを踏まえ、景観法や都市計画法制度の活用や地域の合意による建築協定などへの支援を進めます。

#### 4. まちを形づくる要素に応じた取り組み

まちを形づくる要素は2頁のとおりですが、これらの要素に応じて景観づくりのテーマと考え方にそって、景観を「まもる」「つくる」「みちびく」ための取り組みについて提案し、その手法として参考例を示します。

##### ①住宅街における取り組み

###### 景観をまもる

- 景観を壊す行為をしない

- 例
- 飼主はペットのフンの後始末をする。
  - ごみ、タバコなどポイ捨てはしない。
  - 道路から見える所をいつも美しく保つ。

- 身近な自然景観をまもる

- 例
- 身近に残る森や水辺などの自然を地域でまもる。
  - 開発により失われる自然を残す努力をする。

###### 景観をつくる

- れんがのある住宅街づくり

- 例
- 素焼きの鉢で1軒1鉢運動を行う。
  - 住宅や塀、玄関先にれんがを使う。

- 緑豊かな住宅街づくり

- 例
- 庭木や生垣、芝生や季節の花々を植える。

- 開放感や生活感が感じられる住宅街づくり

- 例
- 低い塀や塀のない庭づくり、組込み車庫やカーポートにより開放感を演出する。
  - 庭先のスペースなどを屋内的に演出した外部空間として、人々の営みが感じられる街並みにする。

- 個性のある住宅街づくり

- 例
- 地域で話し合い、屋根の形や建物の色、通りごとに庭木や塀などの工夫で統一感を持たせる。

###### 景観をみちびく

- れんがの普及のための環境づくり

- 例
- れんがの特性や良さなどをPRする。
  - 使い方や入手方法などの情報を提供し身近な素材としてPRする。



通る人の心を和ませる花で彩られた家



統一感のある住宅街の街並み～野幌若葉町



沢地を活かした緑地～中央緑地

地区住民の景観づくりへの支援

- 例 ○ 地場産れんが使用への支援の仕組みを整える
- 地域が主体となった景観づくりの活動や仕組みづくりなどを支援する。

- 身近な景観づくりの促進

- 例 ○ 身近にある優れた景観を表彰する。
- 景観を意識した住まいづくりをする。



地区住民による国道12号沿道の花壇づくり

②人が集まる場所における取り組み

景観をまもる

- 商店街や駅前の景観をまもる

- 例 ○ 建物の外壁や看板、ショーウィンドウやアーケードなどを美しく保つ。

景観をつくる

- 地区の特性に応じた景観づくり

- 例 ○ 駅前にはまちの玄関口にふさわしい江別らしさを感じる街並みをつくる。
- 石造り倉庫などを生かした歴史を感じる魅力的な商店街をつくる。
- のぼり旗や張り紙、路上看板は、景観に配慮し出し方を工夫する。

- れんがとやきもののある拠点づくり

- 例 ○ 駅舎や駅前広場では地場産れんがと豊かな緑で江別らしさを演出する。
- 店舗や舗道などに地場産れんがを使い、江別ならではの魅力的な商店街を演出する。
- 企業の所有するれんが建造物などを活かした市民との交流拠点をつくる。

- 緑豊かな拠点づくり

- 例 ○ 駅前広場では街路樹や店先一鉢運動の花壇などを工夫し緑豊かで魅力的な駅前の景観をつくる。

景観をみちびく

- 商店街の景観づくりへの支援

- 例 ○ 商店街が主体となった景観づくりの活動や仕組みづくりなどを支援する。



江別駅前商店街による景観づくり～デザイン照明他



元町商店街による景観づくり～元町恋歌塔



旧ヒダれんが工場

### ③工場などが集まる場所における取り組み

#### 景観をまもる

- 地区内や周辺の自然景観をまもる
- 例 ○ 地区内の河川や周辺の樹林地などの自然を企業や地域住民と共にまもる。
- 企業敷地内の環境をまもる
- 例 ○ 建物や看板、ヤードなどをきれいに保つ。

#### 景観をつくる

- 地区内の緑化をすすめる
- 例 ○ 地区内や企業敷地内において近隣地域と共に緑化などで環境を整える。

#### 景観をみちびく

- 企業などの景観づくりへの支援
- 例 ○ 企業が近隣地域に貢献する景観づくりの活動などを支援する。



市民と工業団地の企業による植樹活動



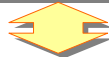
元野幌の屯田兵村林

### 景観シミュレーション

バイク等やのぼりを撤去すると



植え込みを撤去すると



看板の文字・色を統一すると



樹種を変えると

舗装デザインを変えると

出典:「東京都:青山通と街並みの景観える会」HP

## ④ 公共施設における取り組み

## 景観をまもる

- 公共施設を美しく保つ

- 例
- 標識や照明灯などの破損や塗装の傷みはすみやかに補修する。
  - 官公庁の建物や敷地はいつも美しく保つ。
  - 公園の遊具やトイレの塗装などは、地域の協力を得ながらいつも美しく保つ。

## 景観をつくる

- 江別らしい景観をつくる

- 例
- 官公庁施設を整備するときは、維持コストや江別らしさ、周辺施設などとの調和に配慮する。

- 美しい道路の景観をつくる

- 例
- 景観モデル地区などの重点地区を設定し、主要道路の電線地中化など景観を誘導する。
  - 街路樹や四季の花々で緑豊かで季節を感じる景観を市民ぐるみでつくる。
  - 標識柱や電柱などの支柱が少ない道路づくりを工夫する。
  - 道路に面した民有地は、半公共空間の意識を持った景観づくりに努める。

- 地域のシンボルとなる景観づくり

- 例
- 公園を整備する時は、地域のシンボル、やすらぎの場として工夫する。
  - 自治会館など地域の拠点となる施設は、地域のシンボル、憩いの場となるよう工夫する。

- 自然を生かした河川景観づくり

- 例
- 河川を整備する時には、本来の機能を維持しつつ自然と共生した川づくりに努める。
  - 市民ぐるみで既存植生を生かした植樹などを行い、河畔林環境を充実する。

## 景観をみちびく

- 施設整備や管理の仕組みづくり

- 例
- 美しい景観づくりを先導する公共施設整備のための設計指針をつくる。
  - 公園をはじめ公共施設整備や管理に住民参加の仕組みをつくる。



錦町公園の花壇



鉄西線のイチョウ並木



江別市民文化ホール（えぼあホール）



ガラス工芸館

⑤ 農業地域における取り組み

景観をまもる

- 農村の原風景をまもる

- 例
- 援農制度などを生かし営農しやすい環境を整える。
  - 歴史ある耕地防風林を市民ぐるみで維持する方法を検討する。
  - 未耕作地などの農地を廃材置場などにしない対策を検討する。
  - れんがのサイロや屋敷林などを所有者の協力を得ながら市民ぐるみでまもる。



農村景観～大麻地区

景観をつくる

- 地元による景観づくりの促進

- 例
- 農場看板の設置や道路沿いの花壇づくりで農村ならではの景観をつくる。
  - 畑の中に1本の木といった印象的で絵になる景観づくりを工夫する。



花で彩られた沿道景観～西野幌

景観をみちびく

- 地元の景観づくりへの支援

- 例
- 農村の原風景をまもり育てるための環境づくりと支援を検討する。
  - 環境を悪くする不法投棄などへの対策を強化する。

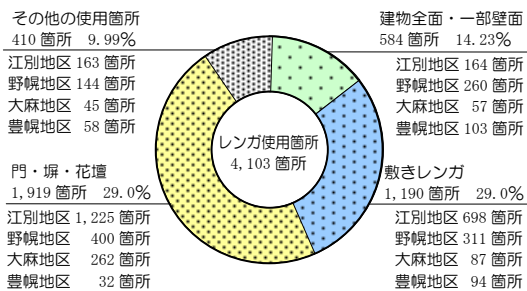


豊幌の木のある農村風景

市内にはこんなにレンガが使われている (江別市れんが建造物実態調査：平成12年9月より)

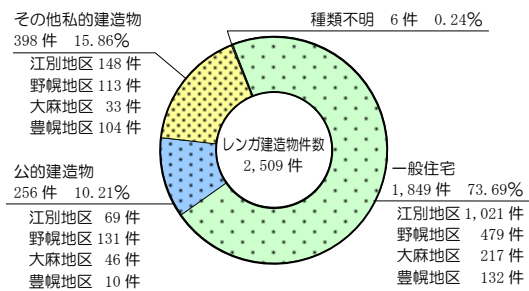
ポイント1

レンガを使っている箇所は 4,103 箇所



ポイント2

レンガ建造物の総件数は 2,509 件





## ⑥ 自然のある場所における取り組み

## 景観をまもる

- 野幌原始林や河川、湖沼などの自然をまもる
- 例 ○ 樹林内の清掃や枝打ち体験、清掃や管理協力などを通じ市民ぐるみで良好な自然環境をまもる。
- 民間の良好な樹林地をまもる
- 例 ○ 所有者の協力を得ながら管理協力などを通じ市民ぐるみで良好な樹林地をまもる。

## 景観をつくる

- 残された樹林地を充実する
- 例 ○ 市街地に残された樹林地や河畔林のボリュームを増やす。

## 景観をみちびく

- 良好な自然景観にするための支援
- 例 ○ 良好な自然をまもりそだてるため、市民による自然調査などの環境づくりと支援体制を整える。



石狩川と河畔林



越後沼～江別太

## ⑦ 歴史的・文化的なものにおける取り組み

## 景観をまもる

- 歴史的建造物などをまもる
- 例 ○ 歴史や文化を感じる景観や歴史的建造物の活用を通じて、貴重な財産を市民ぐるみでまもる。

## 景観をつくる

- 歴史的景観を生かした拠点づくり
- 例 ○ 歴史的景観地区として歴史的建造物を活かした賑わいの拠点をつくる。

- 将来に向けた歴史的・文化的景観づくり

- 例 ○ 将来的に歴史的景観と成り得る建物や街並みを市民ぐるみでつくる。

## 景観をみちびく

- 民間活力への支援
- 例 ○ 市民や企業などが文化や歴史的建造物などをまもり活用しやすい環境を整える。



北海道指定文化財～野幌屯田兵第二中隊本部



登録有形文化財～旧北陸銀行江別支店

## ⑧ 良い景観における取り組み

### 景観をまもる

- 美しい景観をまもる

例 ○ 都市景観賞受賞施設の維持や道行く人の目を楽しませる庭のPRなどの支援を行う。

- 鉄道林をまもる

例 ○ 所有者の協力を得ながら、市民ぐるみでまもり育てる方法や基金の設立などを検討する。

### 景観をみちびく

- 表彰制度などによる誘導

例 ○ 都市景観賞や花のある街並みづくりコンテストなどを通じ美しいまちづくりに対する意識の高揚を図る。

○ 景観モデル地区などを設定し景観を誘導する。



J R 鉄道林～大麻地区



都市景観賞受賞施設～喫茶ビックフォレスト

## ⑨ 改善が必要な景観における取り組み

### 景観をみちびく

- 路上施設の改善

例 ○ 標識や照明灯など支柱の共有化で支柱の少ない景観への改善をめざす。

- 込み合った電線類の改善

例 ○ 景観に配慮する地区を設定し電線の地中化による美しい街並みをめざす。

- 廃車や廃材置場などの改善

例 ○ 廃車、廃材置場などの周囲に緑化などを行い景観の改善を図る。

- 放置自転車の改善

例 ○ 自転車利用者のマナー向上の啓発と盗難自転車対策を研究する。

- 景観阻害要素改善の調査研究

例 ○ 景観を壊している要素の調査を行い、改善策を検討する。



交差点の雑然とした電線類



大麻駅前の放置自転車

## ⑩素材・季節・色彩・音などを生かした取り組み

## 景観をまもる

- 星空のある景観をまもる

例 ○ ライトアップは星空観賞や自然環境に配慮した方法で行う。

## 景観をつくる

- 地場産れんがの活用

例 ○ れんがのまちにふさわしく地場産れんがを積極的に使う。  
○ 市民が安く地場産れんがを使える環境を整える。

- 樹木や花の活用

例 ○ 庭木や芝生、花壇などにより、緑豊かで彩りのある景観をつくる。

- 季節感を演出した景観づくり

例 ○ 桜や紅葉、水辺や雪など季節の要素に配慮した、四季を楽しむ景観をつくる。

- 色彩に配慮した景観づくり

例 ○ 地域の特徴に応じたまちの基本色を決め、賑わいや落ち着きある景観をつくる。

- 音を活用した心地よい景観づくり

例 ○ 風鈴やせせらぎの音、BGMなどにより心地よい景観を演出する。

- 夜を楽しむ景観づくり

例 ○ イルミネーションやアイスクャンドルなどで夜を楽しむ景観をつくる。

## 景観をみちびく

- まちの色の提案のための調査研究

例 ○ えべつらしいまちの基本色を提案するための調査研究をする。

- 景観づくりのための指針づくり

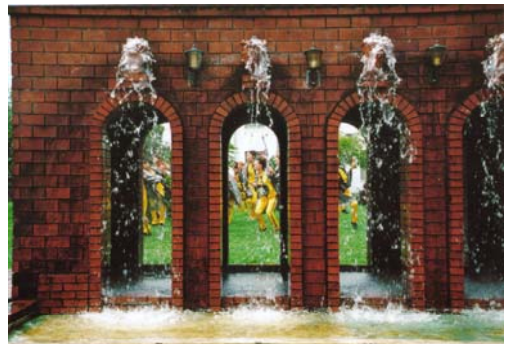
例 ○ 樹木や花、れんがなどの素材やまちの色などを活かした景観づくりのための具体的な指針をつくる。



美原大橋のライトアップ



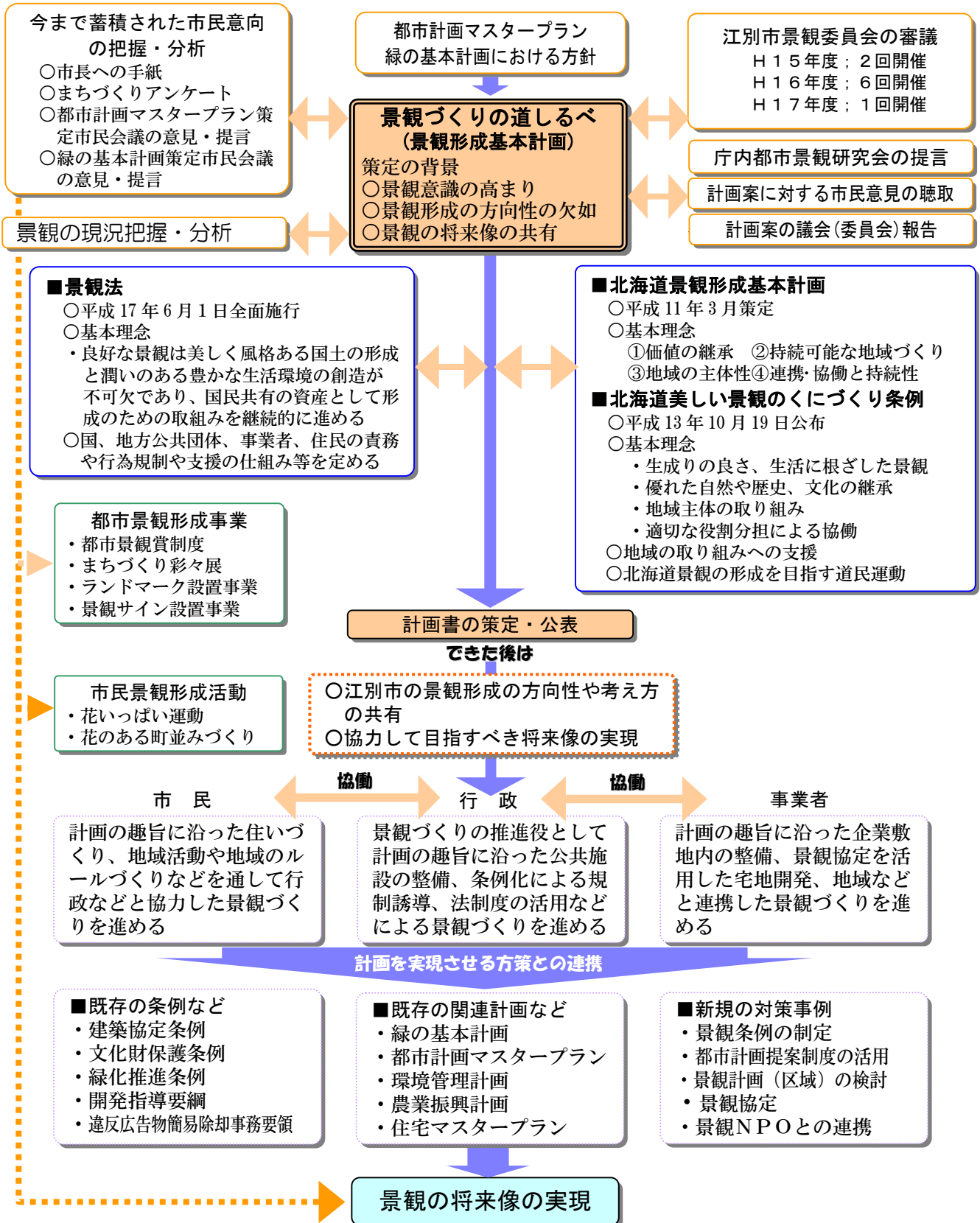
冬のイルミネーション

「れんがと水」  
絵になる江別フォトコンテスト受賞作品

時を知らせるカリヨン

# 6 参 考

## 1. この計画書ができるまでとその後の景観づくり



## 2. 景観に関連する主な法令など

### ➤ 法律・条例等

景観法	～	良好な景観形成に関する総合的な法律
屋外広告物法	～	広告物等の除却や違反措置の強化などによる景観に関する規制誘導
都市計画法	～	景観地区、緑地保全地域、緑化地域、地区計画による景観に関する規制誘導
建築基準法	～	景観重要建築物等に対する規制緩和による景観に関する規制誘導
都市緑地法	～	緑地の保全や緑化の推進、緑化率規制による景観に関する規制誘導
都市公園法	～	立体公園や借地公園による都市公園整備の促進による都市環境の向上
北海道美しい景観のくにつくり条例		
北海道屋外広告物条例		

### ➤ 計画・指針等

国土交通省	景観法運用指針、美しい国づくり政策大綱
北海道	北海道美しい景観のくにつくり基本計画、北海道公共事業景観づくり指針 北海道屋外広告物管理指針

## 3. 都市計画マスタープラン策定市民会議からのご意見・ご提言

- 「都市計画マスタープラン」を策定するために平成12～13年に市民会議を開催し、「地域の良いところ・改善したいところ」の検証や「まちづくりのアイデア出し」などを行った際に出された、景観に関連する参加者の皆様のご意見やご提言を紹介します。これらは、今後の景観づくりの参考にしていくこととなります。

### 1)改善したい景観

#### ① 江別地区

- ゴミなどで汚いバス停留所
- 植栽などが配慮されていない工場
- 景観的に好ましくないアパート
- うっそうとした3番通の街路樹
- 国道12号3丁目交差点周辺の景観

#### ② 野幌地区

- 歩道の雑草や立枯れた街路樹
- 駅前の雑然とした駐輪場
- 放置された無人のアパート
- 分かりやすい案内や標識がない
- 剪定しすぎた国道12号の街路樹
- インター線周辺の廃材、廃車置場
- 歩道を覆う2番通の民地の樹木
- 安全や景観に配慮した公園樹木剪定
- 人工的すぎる公園
- 公園トイレの悪臭
- 周囲と調和しない住宅の色使い
- 商業地での目立つ色使い

#### ③ 大麻地区

- 景観上好ましくない公園の緑地
- 市有の鉄道林の保全
- 花植えされていない15丁目通の植樹帯

- 大麻駅から市民文化ホールへ抜ける殺風景な通路
- 緑道が歩道でネットされていない
- 道々東雁来江別線の札幌から大麻への入口が殺風景

#### ④ 豊幌地区

- 豊幌川の環境美化
- 殺風景な豊幌駅前
- 景観を阻害する高圧線鉄塔の活用
- 電線類の地中化

### 2)守りたい良い景観

#### ① 江別地区

- あけぼの町の3本のポプラ
- 水道庁舎と駅前公園の噴水
- れんがを使ったバス待合所
- いずみ野団地の江別らしい街並み
- 学園通りの四季折々の街路樹
- 電線のないコミセン前シンボルロード
- 自然散歩ができる四季のみち夏のゾーン
- 江別らしい歴史的建造物の旧倉庫群
- 市民が取り組んでいるきれいな花壇



## 4. 緑の基本計画策定市民会議からのご意見・ご提言

- 「緑の基本計画」を策定するために平成12～13年に市民会議を開催し、江別の緑の将来像や緑の保全・創出・活用についてどうあるべきかを検討しました。その際に出された、景観に関連する参加者の皆様のご意見やご提言を紹介します。
- これらは、今後の景観づくりの参考にしていくことになります。

### 1) 景観に関するご意見

#### ① 野幌原始林をまもる

- 原始林周辺の開発を規制する
- 原始林には手を加えない

#### ② まちを取り巻く緑をまもる

- 斜面緑地を守る
- 農村景観を今のまま守る

#### ③ 水辺をまもる

- 篠津川や越後沼、世田豊平川などの自然豊かな水辺を守る

#### ④ 身近な緑をまもる

- 鉄道林は江別のシンボルとして守る
- 原始林や雑木林を守る
- 開発は樹林地を残すよう義務づける

#### ⑤ 緑のボリュームアップ

- 街路樹は成長を考慮して植える
- 市民1人当たりの街路樹本数の目標を定める
- 日常的に目にする緑（緑視率）の充実を図る
- 中心市街地や住宅地の緑化を図る

#### ⑥ 拠点・施設の整備

- 桜や紅葉がきれいな並木をつくる

#### ⑦ 空間の特性に応じた緑化推進

- 商店街に街路樹やポケットパークをつくる

- 工業地は熱排出量に見合った緑化を行う
- 商業地の緑被率は残地の30%以上をめざす

#### ⑧ 緑のイメージアップ

- 歴史性のあるれんがを活用する
- 産業廃棄物処理場の周辺は緑化する
- 「江別らしさ」と「北海道らしさ」を大切に

#### ⑨ 関心を深める機会づくり

- 自治会や学校などの緑の景観コンテストで機運を高める

#### ⑩ 参加の機会づくり

- ガーデニングのイベントをホームセンターなどの民間と連携して行う

#### ⑪ 身近な緑の管理

- 良好な民間緑地の維持管理のために支援する
- 公共施設の樹木は適正な管理を行う

#### ⑫ 緑づくりを支援する

- ガーデニングや地域の花づくり、工業団地の緑化などに助成する
- 庭に植える木の本数を決めて、苗木を提供する

## 5. 都市景観研究会からの提言

- 都市景観研究会は、平成 10 年度に市役所内の若手職員を中心とし、「ふるさと江別」の景観づくりについて調査研究するためにつくられたものです。
- 平成 11 年度には、江別市の景観について、特に公共空間の整備にあたっての基本的な方向性などの提言がなされ、その一部は実際に具体化したものもあり、これからも景観づくりの参考にしていくこととなります。

### 提言の主な内容

#### 1. れんがを使った道路づくり

- 楽しみながら散歩できるれんが歩道とネットワークづくり
- 野幌グリーンモールと四季のみちを結ぶ学園通へのれんがの活用
- 公共れんが建造物を結ぶ歩道へのれんがの活用と休憩所の整備
- 江別の顔である JR 駅周辺や国道 1 2 号へのれんがの活用と緑化
- 通勤通学路や自転車道、街角れんがゾーンとして交差点歩道巻込み部へのれんがの活用
- 歩道幅 3.5 m 以上を基本とした連続するれんが歩道の整備

#### 2. れんがを使った公共建築物づくり

- 必ず一部にれんがなどをイメージする素材の使用
- 周辺施設とモニュメントなどの造形物との調和
- 敷地面積と建物のバランス、建物と植栽スペースの割合への配慮
- れんがとその他の素材それぞれを生かした使用方法への配慮
- デザインは複数案を基に決定のための会議などで決定
- 公共建築物景観形成指針の作成と運用
  - a. 地域と調和した公共建築物
    - ・ 地域の生活環境との調和と風土に根ざした景観づくり
    - ・ れんがの活用と地域の自然環境の保全、育成
    - ・ 大きさ、形態、素材、色彩などの調和
  - b. 個性ある公共建築物
    - ・ れんが、野幌原始林、石狩川をヒントに形態、素材、色彩などで江別らしさの演出
    - ・ ランドマークとしての象徴性の演出
    - ・ れんが、水、緑、光による演出
  - c. 人にやさしい公共建築物
    - ・ 建物の用途と順路を分かりやすく導く
    - ・ 高齢者や障がい者など、だれもが使いやすい施設づくり
    - ・ 緑豊かな植栽や草花で潤いの演出
    - ・ 開放感のある交流の場としての演出

#### 3. 江別らしい街路樹の検討

- 都心地区の幹線道路は、樹高や葉張りある高木による風格ある道路の演出
- 商店街などは、葉張りや葉形の小さいものや花や樹枝が美しく明るいイメージの樹種による華やぎのある空間の演出
- 江別・豊幌、野幌、大麻・文京台の 3 地区の特性に応じた緑化
- 街路樹の緑量の向上に配慮した維持管理の検討
- 2 番通、3 番通、4 番通の街路樹の樹種統一と計画立案
- 一年草や宿根草などによる花のネットワークづくり

#### 4. 江別らしい照明灯の検討

- 緑・川・れんがを意識したシンプルなデザイン照明の設置
- 自然および歴史性を意識し、緑系とれんが色系を基調色とする



## 6. 江別市景観委員会の審議

### 1. 審議経過

平成 15 年度第 1 回	:平成 15 年 5 月 26 日開催
平成 15 年度第 2 回	:平成 15 年 8 月 22 日開催
平成 16 年度第 1 回	:平成 16 年 4 月 23 日開催
平成 16 年度第 2 回	:平成 16 年 5 月 24 日開催
平成 16 年度第 4 回	:平成 16 年 10 月 26 日開催
平成 16 年度第 5 回	:平成 16 年 12 月 1 日開催
平成 16 年度第 6 回	:平成 17 年 1 月 21 日開催
平成 16 年度第 7 回	:平成 17 年 3 月 25 日開催
平成 17 年度第 1 回	:平成 17 年 9 月 30 日開催

### 2. 江別市景観委員会委員

委員長 井 端 明 男	建築分野
表 幸 子	景観づくり実践
加賀屋 誠 一	学識経験：都市計画
金 子 正 美	学識経験：環境
喜 田 信 代	学識経験・景観づくり実践
国 松 明日香	学識経験・芸術分野
渋谷 真 澄	デザイン分野
鈴木 典 子	景観づくり実践
波 田 道 則	学識経験・芸術分野
原 利 文	デザイン分野
ヒルガー・コンラード	学識経験：都市文化
船 木 幹 也	建築分野・まちづくり実践
山 崎 孝 一	景観づくり実践
坂 本 与 市 (前職：委員長)	学識経験：自然環境
佐々木 智津子 (前職：委員長)	建築分野
岩 田 恭 子 (前職)	景観づくり実践
岡 山 栄 子 (前職)	芸術分野
古 海 賢 子 (前職)	景観づくり実践
関 秀 志 (前職)	学識経験：歴史
手 島 圭三郎 (前職)	芸術分野

【敬称略】

7. この計画書のあらまし

景観づくりのテーマ

人と自然が織りなす江別らしい景観を子供たちへ

景観の将来像

暮らしてほっとする景観のあるまち

まちを形  
づくる要素

- |               |                         |
|---------------|-------------------------|
| ・住宅街          | 「暮らし続けたい」と感じる景観         |
| ・人が集まる場所      | 「にぎわい」と「魅力」のある景観        |
| ・工場などが集まる場所   | 「地域や自然と調和」した景観          |
| ・公共施設         | 「江別らしさ・シンボル性・親しみ感」のある景観 |
| ・農業地域や自然のある場所 | 「原風景」のある景観              |



実現に向けた考え方と取り組み

景観をまもる

- ・身近に自然や緑のある景観の保全
- ・地域の記憶となる原風景の保全
- ・歴史を感じる貴重な景観の保全

景観をつくる

- ・地域の特色にふさわしい景観づくり
- ・将来的につながる優れた景観づくり
- ・れんがのまちを意識した景観づくり

景観をみちびく

- ・市民が主役となる身近な景観づくりの推進
- ・景観づくりをしやすい環境の形成
- ・改善が必要な景観を適切にみちびく

住宅街

- ・景観を壊す行為をしない
- ・身近な自然景観をまもる
- ・れんがのある住宅街づくり
- ・緑豊かな住宅街づくり
- ・開放感や生活感が感じられる住宅街づくり
- ・個性のある住宅街づくり
- ・れんが普及のための環境づくり
- ・地域住民の景観づくりへの支援
- ・身近な景観づくりの促進

人が集まる場所

- ・商店街や駅前の景観をまもる
- ・地区の特性に応じた景観づくり
- ・れんがとやきもののある拠点づくり
- ・緑豊かな拠点づくり
- ・商店街の景観づくりへの支援

工場等が集まる場所

- ・地区内と周辺の自然景観をまもる
- ・企業敷地内の環境をまもる
- ・地区内の緑化をすすめる
- ・企業などの景観づくりへの支援

公共施設

- ・公共施設を美しく保つ
- ・江別らしい景観をつくる
- ・美しい道路の景観をつくる
- ・地域のシンボルとなる景観づくり
- ・自然を生かした河川景観づくり
- ・施設整備や管理の仕組みづくり

農業地域

- ・農村の原景観をまもる
- ・地元による景観づくりの促進
- ・地元の景観づくりへの支援

自然のある場所

- ・野幌原始林や河川や湖沼などの自然をまもる
- ・民間の良好な樹林地をまもる
- ・残された樹林地を充実する
- ・良好な自然景観にするための支援

歴史的・文化的なもののある場所

- ・歴史的建造物などをまもる
- ・歴史的景観を生かした拠点づくり
- ・将来に向けた歴史的・文化的景観づくり
- ・民間活力への支援

良い景観

- ・美しい景観をまもる
- ・鉄道林をまもる
- ・表彰制度などによる誘導

改善が必要な景観

- ・路上施設の改善
- ・込み合った電線類の改善
- ・廃車や廃材置場などの改善
- ・放置自転車の改善
- ・景観阻害要素改善の調査研究

素材・季節・色彩・音などを生かした景観

- ・星空のある景観をまもる
- ・地場産レンガの活用
- ・樹木や花の活用
- ・季節感を演出した景観づくり
- ・色彩に配慮した景観づくり
- ・音を活用した心地よい景観づくり
- ・夜を楽しむ景観づくり
- ・まちの色の提案のための調査研究
- ・景観づくりのための指針づくり

つくろう！ふるさと江別の絵になる風景

景観形成基本計画



平成 18 年（2006 年）3 月発行

－ 編集・発行 －

江別市 企画政策部 都市計画課

TEL. 011-381-1038

E-mail. [tosikei@city.ebetsu.lg.jp](mailto:tosikei@city.ebetsu.lg.jp)